



発行日：2015年8月31日
 発行元：熊本地域リハビリテーション広域支援センター熊本機能病院
 お問い合わせ：熊本機能病院内
 〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1
 TEL：096-341-0511 FAX：096-341-0512 Email：kc-chiikireha@juryo.or.jp
 担当：東利雄（理学療法課 課長補佐）

地域リハビリテーション広域支援センターの役割

地域リハビリテーションの理念に基づいて熊本県の委託を受け、熊本市北区の中で、リハビリテーションに関わる関係機関および地域に住む人々の相談・支援を行う施設です。また、圏内の介護老人福祉施設の相談・支援も行います。

第28号発行に添えて ～ご挨拶～

長い梅雨を終えて猛暑が続いています。戦後70年は記録に残る気候となりそうです。平成27年度から熊本県地域リハ広域支援センターの委託業務の一環として、「災害時には市町村及び熊本県災害派遣福祉チーム（熊本D-CAT）等と連携し、避難所等での生活不活発病対策などの支援活動に取り組む」ことが明記されました。

時を同じくして、熊本でも「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（以下、JRAT）」が発足し、4月4日に第1回熊本県災害リハビリテーション推進協議会研修会が開催されました。JRATの活動の目的は、行政に呼応して、災害時にリハ専門職が連携して速やかに適切な対応ができるように、多職種災害リハコーディネーターを養成し組織化しておくことにあります。災害リハコーディネーターは、被災地住民、避難所や福祉避難所の方々に、必要なリハサービスを提供するための調整を行ったり、支援に駆けつけるリハ専門職のリーダーとして現場で活動したり、被災地に出向いて現地の行政やJRATと協働して活動することが想定されます。

JRATが活動する機会が無いに越したことはありませんが、不測の事態にいつでも対応できる体制と、その体制を実際に運用するための人材を育成することも、地域リハ広域支援センターの重要な業務であることを自覚して、JRATの活動に積極的に参加して行きたいと思っております。

熊本地域リハビリテーション広域支援センター 熊本機能病院
 センター長 中西 亮二

平成27年度

川上地区（北部） 体力測定会の報告

川上地区では、月に1回コミュニティセンターで地域のサポーターを中心に健康教室を開催しています。その教室では、運動の効果を確認するために、年に2回体力測定会を広域リハのスタッフと一緒に実施しています。今回で3回目となり、今年度最初の体力測定を4月に開催し、握力、開眼片足立ち、5m歩行を実施しました。

教室に定期的に参加されることにより、効果が上がっている方もおり、このように定期的に行われる健康教室の重要性を感じる事が出来ました。

測定後は、体力アップのための運動指導を行いました。教室での運動に加え自宅で継続して運動を実施することにより、更に運動の効果を高めることができます。そのため、運動方法だけでなく、自宅でどのように実施していくかのアドバイスも伝えるように意識しています。



ささえりあ北部のスタッフの皆様は、自宅でのトレーニングが継続出来るように記録表を作成し、サポートされています。

これからの介護予防は地域におけるウエイトが大きくなっており、住民主体の継続的な健康教室がとても重要になってきます。これからも、地域住民の皆様が互助の力を活かして、継続的に健康教室を実施できるように教室の立ち上げや継続支援に関わっていきたいと思います。

熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンター
 荒井久仁子・山下亮



